

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

まほろばの家

グループの名称

奈良地域工務店の会

直近採択グループ番号

06-0102-0594

(グループ代表者)

代表者名

向井 克隆

代表者印

代表者所属先

株式会社アーキネット

代表者所在地

奈良県奈良市大安寺2丁目8番1号

代表者電話番号

0742-63-1121

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社アーキネット

事務局担当者名

吉崎 利沙

印

事務局郵便番号

630-8133

事務局所在地

奈良県奈良市大安寺2丁目8番1号

事務局電話番号

0742-63-1121

事務局FAX

0742-63-1125

事務局担当者E-mail

info@kinoto.co.jp



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
着工先着順にて割り振り									
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)									
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸	
優良建築物型									
採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸	
採択床面積		m <sup>2</sup>	交付申請床面積		m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積		m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) まほろばの家	(地域型住宅供給対象地域) 奈良県、大阪府、京都府
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 奈良地域工務店の会	(結成年) 2017年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0102-0594	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	長期優良住宅たる省エネ等級を満たす事、また、奈良は、夏季・冬季の寒暖の差が激しい地域。断熱性能を高めつつ 自然光・風を取り入れる間取りを提案することにより住み良い住環境の住宅を供給。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	在来軸組工法を採用。長期優良住宅たる耐震性能を満たし、かつ近々くるであろう南海トラフ地震に耐える住宅とする為、木材は、可能な限り、機械等級区分製材の木材を採用。高品質な木材を使用することにより、住宅の高耐久力化を図る。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	古来から世界最高峰の木造建築を生み出してきた職人達の技術。その技術をデザインに採用。一部真壁作り等を採用し、手の痕跡が残る伝統的なデザインを採用。	○
④①～③の背景	奈良県の気候は概ね温暖ですが、北部の北西部大和盆地では内陸性気候、北部の北東部大和高原では内陸性気候と山岳性気候の特徴を有し、気温の日較差が大きく、夏は暑く、冬は寒くなります。冬の寒さ・夏の暑さを緩和することにより心地良い住宅を提案。また、奈良は古来から世界最高峰の木造建築を生み出してきた地域で、伝統的で優れた技術を携えた職人が多く、その技術をデザインに取り入れる事により高品質で上質な空間を作り住まい手と共に技術の継承を図る。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
②-1 建材・資材調達共同化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 流通の一元化を事務局で行う	○
②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 仕入先の選定	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	■ ない □ ある → 内容:	
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	■ ない □ ある → 内容:	
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	■ ない □ ある → 内容:	
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない □ ある → 内容:	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: 定期的に勉強会を開催し、技術の向上と各問題点の解決を行う	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	□ ない ■ ある → 内容: 週休2日制を推奨	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない ■ ある → 内容: 技能や経験値を昇給や昇進の評価対象として盛り込むよう提案	○
③ 社会保険への加入	□ ない ■ ある → 内容: 社会保険への加入を促す	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない ■ ある → 内容: 定期的な安全管理研修や健康診断を検討する	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) まほろばの家	(地域型住宅供給対象地域) 奈良県、大阪府、京都府	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 奈良地域工務店の会	(結成年) 2017 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0102-0594		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積履歴情報のメンテナンステナンス基準		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	■ ない □ ある → 内容:	
	①-2 情報サービス機関の活用	■ ない □ ある → 内容:	
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	■ ない □ ある → 内容:	
	②-1 点検の共通ルール	■ ない □ ある → 内容:	
	②-2 補修の共通ルール	■ ない □ ある → 内容:	
	②-3 点検補修実施の確認手法	■ ない □ ある → 内容:	
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない ■ ある → 内容: 年に数回開催	○
	③-2 DIY体験会等の実施	□ ない ■ ある → 内容: 施工店が自主的に行う。開催を促す。	○
③-3 その他の相談会等の実施	□ ない ■ ある → 内容: 都度 要望があれば開催。	◎	
④ 維持管理委員会等の設置	■ ない □ ある → 内容:		
⑤ その他の維持管理の手法	■ ない □ ある → 内容:		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない ■ ある → 内容: 施工業者が廃業・倒産の場合は、事務局が住まい手と相談の上希望するグループ内施工業者に委託する	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	■ ない □ ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない ■ ある → 内容: 個別に相談・アドバイス・指導を行う	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	□ ない ■ ある → 内容: グループ事務局で施工方法の指導・アドバイスを行い、各施工の標準化を図る。	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない ■ ある → 内容: グループ事務局の担当が現場にて確認	○
	③-1 需給計画の策定	□ ない ■ ある → 内容: 取引先と協力して策定	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	□ ない ■ ある → 内容: 職人との懇談 その中で意匠提案を含め伝統的な技術の採用方法を検討する	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない ■ ある → 内容: 計画に基づき 部材手配・プレカット加工の準備を行い合理化を図る	○
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		□ ない ■ ある → 内容: 省エネ講習会の告知を行い講習会の参加を促す	◎
c	① 新たな技術等の導入	□ ない ■ ある → 内容: 勉強会・検討会を開き、各技術・意匠提案を吟味・採用していく。	○
	② 新たな技術等の開発	□ ない ■ ある → 内容: 施工業者と職人の懇談 その中で意匠提案を含め伝統的な技術の新しい採用方法を検討する	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) まほろばの家	(地域型住宅供給対象地域) 奈良県、大阪府、京都府
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 奈良地域工務店の会	(結成年) 2017年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0102-0594	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	地域材利用に関する共通ルール(必須) 主要構造部 土台・柱材は、国産材を使用する 又 梁桁等の横架材については、可能な限り国産材とする。都合一部のみの使用となる場合は、一棟当たりの国産材比率を50%以上になるよう使用し、極力国産材比率が高くなるよう努力する。羽柄材 間柱・筋交・垂木については、構造上問題のある場合は除き すべて国産材を使用。枠材・床材等の化粧材も可能な限り国産材とする。	◎
②	地域材利用の1棟当たりの割合(必須) <input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	○
③	標準的な地域材の使用部位(必須) 主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	○
④	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明 地域材の流れ 原木供給→木材製材所→プレカット工場→施工業者→住まい手	
b		
①-1	地域材在庫把握の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 供給業者と密に連絡を取ることで在庫を把握	◎
①-2	地域材価格の共有の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ事務局が中心となり聞き取りし、共有する	◎
②	グループ全体における地域材の需給予測 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
c		
①-1	畳の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 住まい手と協議の上採用	○
①-2	和瓦の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 住まい手と協議の上採用	○
①-3	襖の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 住まい手と協議の上採用	○
①-4	障子の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 住まい手と協議の上採用	○
②-1	その他地域の伝統的な素材の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 内装材への左官・木材の活用	○
②-2	その他地域の伝統的な意匠の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
d		
①	地域の伝統的なデザインを継承する取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 真壁作り等木材表しの意匠を採用し、手の痕跡が残る伝統的なデザインを採用	○
②	地域の住まい方の継承につながる取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 季節の寒暖差が大きい地域。冬の寒さ・夏の暑さを緩和することにより心地よい住宅を提案。	◎
③	地域の街並み形成へ寄与する取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の街並みに配慮	◎
④	和の住まいの要素を取り入れた取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 瓦・畳・木材・左官等 日本伝統の素材を使用した家作りを推奨	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> まほろばの家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 奈良県、大阪府、京都府
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 奈良地域工務店の会	<small>(結成年)</small> 2017 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0102-0594	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
施工 断熱材を統一し、性能の向上を目指す。また、勉強会等を開催し、会全体の技術力向上を図る。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。